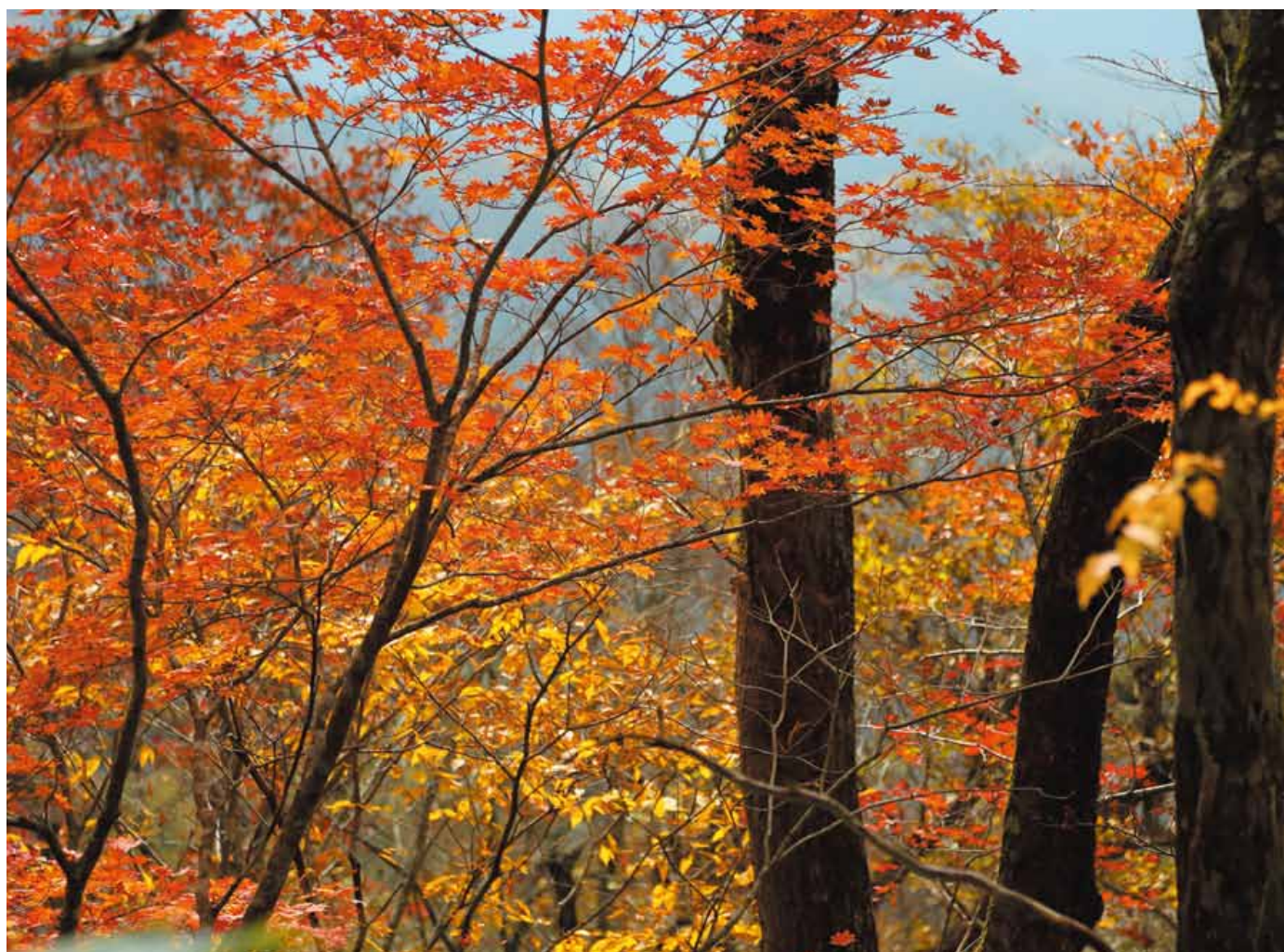




つのもちよう

第51号

# 議会だより



天狗高原 秋のセラピーロード

## 9月定例会

平成29年11月1日発行

### 主な紙面

平成29年度一般会計補正予算……………2P

平成28年度各会計決算を認定……………6P～7P

町政を問う（5人が一般質問）……………8P～15P

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 笹岡印刷所

防災拠点施設  
整備事業等

2億8,500万円を増額

総額57億4,800万円

9月定例会は、7日から14日までの8日間開かれ、健全化判断比率や専決処分

の報告が4件、平成29年度の一般会計補正予算をはじめ議案6件、平成28年度各会計決算6件を認定した。

一般質問には、新議員を含む5人が立ち、町長の施政方針、政治倫理条例、要支援者対策、農業の担い手支援、公園の維持管理等について執行部をただした。

29年度補正予算

▼一般会計補正予算(第3号)

コミュニティバス運行管理事業1千177万2千円、防災拠点施設整備事業1億5千824万7千円、がけくずれ住家防災対策事業2千万円、各学校への情報基盤整備事業4千110万円等を増額し、歳入歳出の総額を57億4千800万円とする。

可決(全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

事業勘定1千441万9千円増額し、歳入歳出の総額を事業勘定9億2千696万9千円とする。

可決(全員一致)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成29年度保険給付費1千410万円、平成28年度の介護給付費確定に伴い588万7千円を増額し、歳入歳出の総額を7億8千971万円とする。

可決(全員一致)

条例の制定・改正

▼津野町コミュニティバス条例の制定

平成29年10月から町内全域でコミュニティバスの本格運行に必要な条例の制定とともに、町営バスの運行

に関する条例を廃止するもの。

可決(全員一致)

▼津野町集落活動拠点施設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

平成29年3月に完成した貝ノ川地区集落活動拠点施設の位置について、当該土地の分筆登記により地番が変更になったため、所要の改正をするもの。

可決(全員一致)

その他の議案

▼平成28年度林道災害第1号林道柿の木谷線災害復旧工事請負契約の変更契約の締結

契約金額  
変更前 3億218万2千920円  
変更後 3億2千500万8千720円  
請負者 (株)谷渕組

東津野支店  
可決(全員一致)

▼平成29年度林道金剛線舗装工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 4千795万2千円  
請負者 鶴松建設(株)

可決(全員一致)

▼平成28年度(繰越)葉山中学校プール改修工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 1億3千327万2千円  
請負者 (株)中成

可決(全員一致)

▼平成29年度小中学校空調機設備整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 5千205万6千円  
請負者 (株)シンゲン

可決(全員一致)



## 賛成討論

高橋議員

地元業者が請負をしており、早く改修し素晴らしいプールを計画どおり造るべきで賛成するものである。

## 専決処分の報告

平成28年度第2―1号町道芳生野奈路線橋梁下部工事請負契約金額を40万280円減額し、5千179万4千640円とするもの。

平成29年8月14日に発生した林道東津野城川線舗装の陥没による車両右側ホイールを損傷した事故に伴う損害賠償に関し、和解及び損害賠償額を決定したものの。

## 請願・陳情の審査

### ◎請願

山崎地区の旧道の排水設備の改善について  
(決定) 継続審査

### ◎陳情

「大学生への給付制奨学金制度の拡充」を求める陳情  
(決定) 継続審査

「特別支援学校の設置基準の策定、及び特別支援学級の学級編制基準の改善」を求める陳情  
(決定) 採択

農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情  
(決定) 継続審査

日本政府にビキニ核被災者の救済を求める意見書の提出を求める陳情  
(決定) 継続審査

陳情書電気工事・管工事の分離発注について

(決定) 継続審査

書提出のお願い  
森林環境税創設の意見

(決定) 採択

陳情書吉村虎太郎像の高知駅前立つ維新の志士坂本龍馬達の像の仲間入りの陳情

(決定) 採択



9月定例会 西庁舎議場

## 議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月 (本庁舎議場)

6月・9月 (西庁舎議場)

たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

# 町長 行政報告



池田町長

## 平成28年度決算

判断指数となる実質公債費比率はマイナス4.7%と昨年度に引き続き健全な値であり、実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担比率も健全な財政状況である。

## 地区座談会

本年度は、広く町民の皆様の声を聞くためテーマを設けず、保護者会やPTAにも参加を呼び掛け、延べ183名の参加を得た。

子どもの問題や福祉・文化・農業・道路関係などの貴重な意見をいただいた。

関係機関と協議しながら今後の町政に生かしていく。

## コミュニティバス

10月からの本格運行は有料で、定時定路線を4台で1日4往復する。

西地区で運行していた3路線の町営バスは、コミュニティバスに移行。東地区は葉山ハイヤー、西地区は新田ハイヤーに業務委託する。運賃は小学生以上を100円とし、分りやすい冊子で町民に周知を図りながら変化する地域ニーズに対応していく。

## 国民健康保険

平成30年度からは、県が運営主体となり安定的な財政運営や効率的な事業の確保などの役割を担う。

県では広域化に向け検討中。保険料は3年間統一せず、納付金は各市町村の医療・所得の水準を反映するとし、保険料率の決定や賦課徴収は市町村が行う。

## 夏まつり

第13回津野町夏まつりを

葉山運動公園で開催。加藤登紀子さんのトーク&ライブや花火大会などで賑わった。開催へのご寄附に心からの感謝を申し上げます。

## 津賀ダム

四国電力に与えている津賀ダムの水利権が平成31年3月末で期限を迎える。水利権の更新には、知事の見解が必要。県が「梶原川河川状況調査会」を設置して今後の対応を検討する。梶原町・津野町魚族保護会と連携をとって必要な対策を求める。

## 白石簡易水道整備

要望が出されていた水道整備事業に8月末の測量設計で着手。平成33年度の完成を目指す。地域の方々の情報交換を行いながら推進していく。

## 志国高知幕末維新博

吉村虎太郎邸を地域会場に、近隣施設や団体と連携し周遊観光の推進に取り組んでいる。

企画展や津野山古式神楽、

高野農村歌舞伎の上演などを通じ、メディアを活用して魅力発信に力を入れ、誘客を図っている。

## 学力向上対策

子どもが主体的・対話的で深い学びができる問題解決型の授業づくりに取り組んで5年目となり、児童生徒の「学習に向かう姿勢」の向上や教員の授業改善への意識の向上が図られている。

4月に実施された全国学力・学習状況調査では、小学校は昨年に引き続き全国のトップレベルに位置し、中学校でもトップレベルとなった。今後も課題を共有して個々の学習支援と授業改善に努める。

## 児童生徒の研修

夏休みに海外研修に2名が参加。語学や異文化を研修。10年目を迎える訓子府町との小学生交換留学事業は4名を受け入れて実施。長期集団宿泊活動推進事業は、町内の小学5年生41名が県立幡多青少年の家でシーカヤック・道徳学習など有意

義な自然体験と学習活動を行った。

## 不登校・いじめ

各関係機関と連携して常時家庭訪問を行っており、今後も生徒の心に寄り添った指導を続ける。いじめの報告は受けていないが、見えていない可能性もあるので引き続き学校と連携し対応する。





# 議会だより発行調査特別委員会活動報告

## どう住民参加型を作るか

7月に新体制となった本委員会は、9月29日、東京平賀町の砂防会館で開催された年一回の「町村議会広報研修会」に参加した。新たな知識や情報を得る大変貴重な場となった。

編集にあたり「読んでもらえる紙面づくり」を心掛けてきたが、理解しやすい文章の書き方の演習を通じて、無駄の多さと読みづらさがあったことを実感した。住民参加型の議会を目指すためには、これまでの（議会とはこういうもの）という概念を捨て、住民の言葉で書くことの必要性を感じさせられた。

また、スマホの普及により、議会だよりをスマホで無料閲覧できたり、ホームページや議会中継を連動する事例を学んだ。議員のなり手不足が話題に上がっている今、時代の流れと共に

変化するニーズに対応するためにも、電子媒体の導入は大きな課題である。研修終了後の委員会活動で各委員が出し合った感想や意見を更に協議し、広報紙の充実だけでなく、住民の皆さんと共に歩む議会づくりへと繋げていきたい。



## 議会のうづき

8月

2 全員協議会

(西庁・議員)

5 葉山センダン杯小学生野球大会  
(葉山運動公園他)

9 高幡東部清掃組合議会監査  
(中土佐町・組合議員)

15 津野町夏まつり  
(葉山運動公園)

17 高幡消防組合議会臨時会  
(須崎市・議長)

18 高幡町村議会議長会  
議員研修会  
(四万十町・議員)

21 町村議会議長研修会及び  
政に対する意見交換会  
(高知市・議長)

27 高陵消防連合演習  
(梶原町・議長)

4 議会運営委員会  
(本庁・委員)

7 第5回津野町議会定例会  
(西庁・議員)

総務常任委員会  
(西庁・委員)

産業建設常任委員会  
(西庁・委員)

8 休会(〜12日)

平成28年度決算連合審査会  
(西庁・議員)

総務常任委員会  
(西庁・委員)

10 葉山中学校・東津野中学校  
体育祭  
(西庁・議員)

12 高知県知事  
「対話と実行行脚」  
(町内・正副議長)

13 一般質問  
(西庁・議員)

14 議案審議、閉会  
(西庁・議員)

19 産業祭実行委員会  
(商工会本所・委員)

22 津野山広域事務組合議会  
(梶原町・組合議員)

23 高原荘敬老の日祝賀会  
(副議長)

土佐牛まるかじり大会・  
ゆすはらグルメまつり  
(梶原町・議長)

24 精華小学校・葉山小学校  
運動会  
(高知市・議長)

26 四国四県町村長・議長大会  
(高知市・議長)

28 高幡東部清掃組合議会定例  
会  
(中土佐町・組合議員)

29 町村議会広報研修会  
(〜30日) (東京都・委員)

30 さくらんぼ園運動会

10月

2 津野町コミュニティバス出  
発式  
(本庁・議長)

8 津野町民運動会  
(西運動公園)

11 高知県消防操法大会  
(いの町・議長)

12 議会だより発行調査特別委  
員会  
(本庁・委員)

14 四国地区町村議会議長会研  
修会  
(松山市・正副議長)

18 にじいろ園運動会  
(本庁・委員)

24 議会だより発行調査特別委  
員会  
(本庁・委員)

24 全国農業担い手サミット in  
こうち  
(高知市・議長)

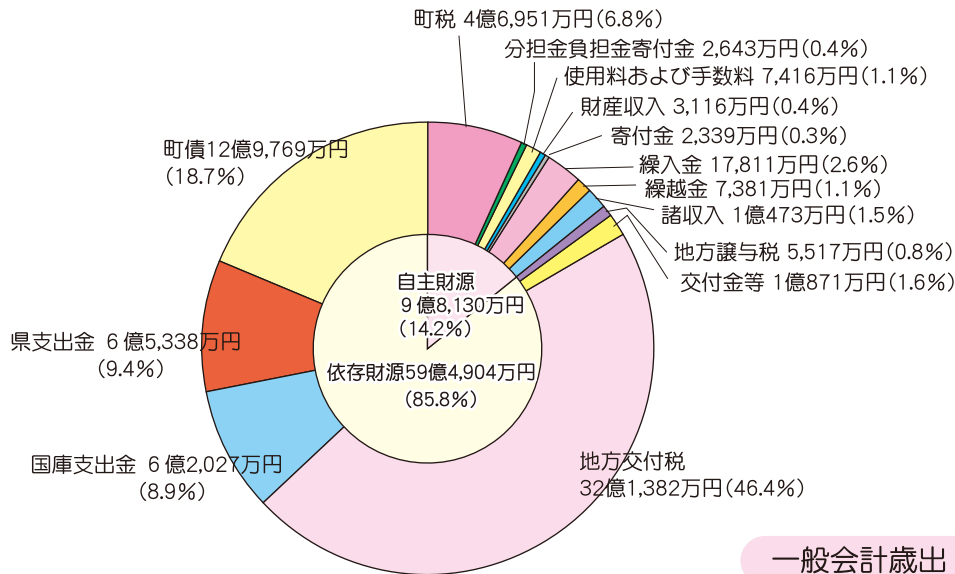
トップセミナー  
(高知市・副議長外)

# 平成28年度一般会計・各特別会計決算を認定

一般  
会計

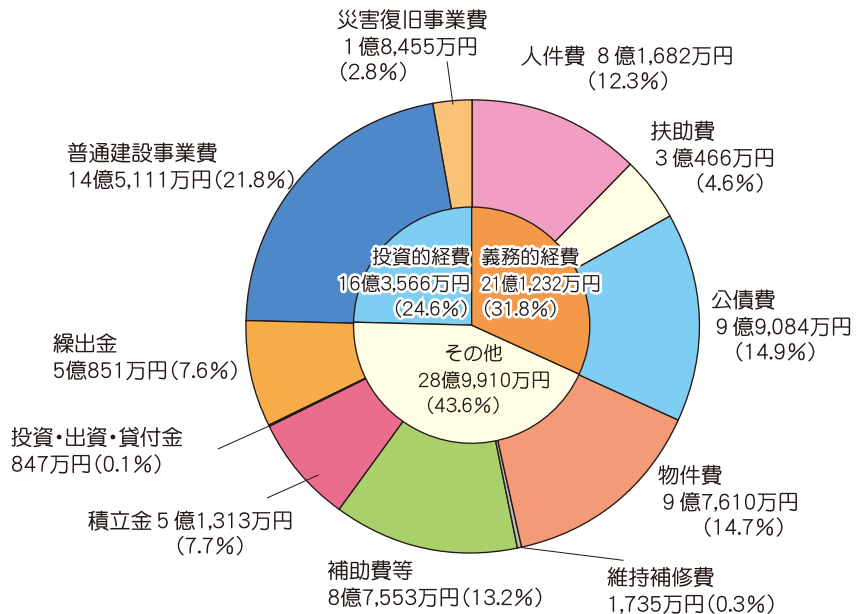
町債（借金）現在高75億7,689万円（対前年 3億4,918万円増）  
基金（貯金）現在高86億1,221万円（対前年 6億4,845万円増）

一般会計歳入 69億3,034万円



平成29年9月定例会で、総務常任委員会に付託された平成28年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。

一般会計歳出 66億4,708万円



一般会計

①歳入歳出の状況

平成28年度一般会計歳入額は、前年比5.6%減の69億3,340万円、歳出額は、前年比5.9%減の66億4,708万円、歳入歳出の差引額は2億8,325万円と、前年度より減少している。

となつてい。実質収支額は、2億4,531万円であり、この内2億1,000万円を基金積立している。歳入歳出とも前年度より減少している。

## 会計別の決算額

単位：万円（端数切捨て）

合計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	69億3,034	66億4,708	2億8,326
特別会計			
国民健康保険事業勘定	8億9,336	8億7,540	1,796
直営診療施設勘定	1億4,639	1億4,267	372
介護保険事業	7億4,125	7億4,102	22
簡易水道事業	3億5,475	3億5,475	0
生活環境施設整備	7,379	7,298	80
後期高齢者医療	9,323	9,241	81
合計	92億3,313	89億2,634	3億678



②財産の管理について

土地建物等の維持管理について、監査委員から指摘があつている。

③債権の状況

学資貸付金は平成28年度貸付金678万円、返済額は849万円で決算年度末現在額は5千102万5千円である。貸付金は、100%徴収されている。

④基金の状況

基金（基準日平成29年3月31日）は、6億8千97万5千円積立し、3千251万8千円取崩し、決算年度末の残高は、86億1千221万6千円で平成27年度末に比べ6億4千845万7千円増加している。

⑤地方債の状況

平成28年度発行額は、12億9千769万5千円で償還金は9億4千851万2千円（繰上償還含む）である。決算年度末残高は、75億7千689万4千円で平成27年度末に比べ3億4千918万3千円増加している。

⑥収入未済額の状況

収入未済額は、町税1千246万3千214円、養護老人ホーム入所負担金71万8千100円、保育料・幼稚園授業料等7万1千70円、教員住宅使用料10万2千円、学校給食費42万1千780円の合計1千377万6千164円で平成27年度末より1千139万8千472円減少している。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

平成28年度未加入世帯数は980世帯で総世帯数に占める割合は36.3%となっている。被保険者数は1千541人で総人口に占める割合は25.6%である。医療費一人当たりの平均額は32万4千156円で減少傾向にある。国保税に対する徴収率は95.15%でその内訳は現年課税分97.79%、滞納繰越分60.41%となっている。

直営診療施設勘定特別会計

受診者数は、姫野々診

療所で延べ1万2千340人、杉ノ川診療所で延べ7千619人、合計で延べ1万9千959人と昨年度より少し減少している。

簡易水道事業特別会計

使用料について27万9千625円の未収金がある。

生活環境施設整備特別会計

本年度の浄化槽設置基数は26基である。使用料で31万1千340円の未収金がある。

介護保険事業特別会計

保険料について331万9千510円の未収金がある。

後期高齢者医療特別会計

保険料について33万2千638円の未収金がある。

財政健全化判断比率  
基準値を下回り「健全」

平成28年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

賛成討論

高橋議員

平成28年度歳入歳出決算は、収入未済金全て前年度より減少しており、財政力指数が0.15と効率的な運営を図っており、決算に対して賛成するものである。

財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△4.7%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

経営健全化判断

会計名	資金不足率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

標準財政規模

補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。28年度は36億7千561万3千円

実質赤字比率

普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合

連結実質赤字比率

町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合

実質公債費比率

町の標準財政規模に占める借金返済額の割合

将来負担比率

町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率



高橋眞一郎

# 一般質問

**問** 特定町民・町議からの働きかけは

**答** 報告は受けていない

高橋

政治倫理条例に対する見解、特定町民又は、町議からの働きかけ行為は。

池田町長

倫理条例は、議員自らの判断で策定しており、しっかり運用されていると思う。町職員に対しての働きかけについては、報告はあがっていない。  
対応マニュアルは内容を調査・検討し、策定に向けた作業に入りたい。



**問** 葉山小と精華小の統合を

**答** 保護者との対話を重ねる

高橋

統合により地域が疲弊するというのは過去の話、子ども達の幸せを考え、伸びる力を伸すべきでは。

池田町長

統合については、子ども達を主体に、保護者も含めた広い世代、総合教育会議等で議論をかわしていく。  
久寿教育長  
住民や保護者の考えを聞き、子ども達の声を大切に教育を推進する。

**問** 職員採用の工夫を

**答** 工夫を凝らす

高橋

町外採用の2割が退職している原因は。面接のあり方に問題はないか。

池田町長

退職理由は、地元の公務員になったり、家庭の事情の他、新たな仕事に就いたりである。  
面接では、いかに津野町を愛する職員になっていたか、その思いも伺っている。合わせて今後は、面接も様々な工夫を凝らして進めていく。



精華小学校



葉山小学校





石川 寿朗

## 一般質問

**問** 働き場の確保を

**答** 可能な限り香託

石川

イベントが多く、平日も町職員が準備や片付けに出向いている。サービス低下防止のため、町内の期間内就労者や元高齢者を有償スタッフとして活用できないか。

同様に不燃物処理の作業も町民の働き場、活動の場にできないか。

池田町長

イベントの開催目的に沿うには、町職員と共催団体がスタッフとして活動し携わる事がよい。業務でなく

多くの町民に参加し、楽しんで頂きたい。それにより行政サービスが低下するとは考えていない。

不燃物処理場は、大谷の交通整理のみ外部委託している。今後も町で行う事務事業は積極的に外部委託したい。

不燃物処理については、町中心付近に1カ所のストックヤード方式を検討中。

早い時期に整備し、その時点で外部委託をしたい。当面は職員を配置して対応する。

石川

**問** インフルエンザ対策は

**答** 子育て支援につながれば

インフルエンザは感染力が強くまれに脳障害や髄膜炎、高齢者の死亡要因となっている。

12歳までの1人6千円は、子育て世代にとって大きな負担となる。

完全無料化に向けて段階的に軽減しては。

池田町長

13歳から65歳までは、本人や家庭の考えによるもので、行政が推奨するものではないため、軽減は考えていない。

12歳以下は、制度の必要性も含めて議論・検証中。

子育て支援につながれば実施する方向で考える。



**問** 「みどりの広場」の管理は

**答** ベストな管理を

石川

「みどりの広場」は公園としての機能を果たしていない。跡地利用については企業誘致等を協議中ということだが、実現するまでには時間が必要。

夏休み前には除草し、大掛かりな公園化でなく遊具等の設置とトイレの改修により、良好な状態での維持管理をしては。

池田町長

除草は、6月・9月・11月に白石地区活性化委員会に委託しているが、時期は検討したい。

遊具は難しいがベンチは設置可能。  
トイレの管理は委託しているが、水道の故障もある。できる限り修繕し、必要があれば改修する。



承葉塾 調理の様子



西元和代

**問** 条例の見直しを

**答** 現段階ではできない

西元

合同練習や大会等での宿泊希望者はできるだけ安価な所を希望する。承葉塾の条例の別表にある使用料金表を改正すれば旅館業法にある宿泊施設付の研修費と同様、宿泊も可能になり利用率が上がると思うが。

池田町長

町内の宿泊可能定数は287人であるが夏季休暇中は申し込みが殺到し予約が取れない。承葉塾は旅館業法をクリアするために耐火構造に改修しなければならぬため、宿泊を断念している。白石地区活性化委員会が白石小学校旧校舎を活用した宿泊業務を検討している。承葉塾を活性化委員会が宿泊業務に活用するのであれば改修に向けて検討したい。公共施設の宿泊に関しては非常にグレーな部分が多いが、安全対策をしつかり行うべきと考える。

**問** 総合センターに空調設備を

**答** 考えていない

西元

葉山運動公園総合センターは災害時の二次避難所の機能も兼ねている。各種団体等からの網戸設置の要望も出ている。各地でも避難所の空調設備がないことが課題となり、消防庁より充当率100%の生活環境改善のための施設整備事業費も出ている。自家発電と併せて空調を整備できないか。

池田町長

長期間や夏季の避難は空調が理想だが、維持費が課題である。町内5カ所の体育施設についての空調設備は困難である。当面は設備のある里楽と西庁舎を活用。大規模災害時にはB&Gや総合センターも活用し、石油ストーブや扇風機で対応する。網戸については本年度、整備に向けて取り組む。



## 問 テンミリオンハウスのような取り組みを

## 答 支援ができる仕組みを作る

西元

武蔵野市で行っている

テンミリオンハウスは津野町規模に置き換えると、一般介護予防の財源で可能ではないか。空き家や旧幼稚園跡等、活用できる場所も多い。すぐにでもこのような共助の仕組みを取り入れるべきではないか。

また、やる気のある住民を先進地視察に連れて行くことで、取組みにスピード感も持てると思うが。

池田町長

小さな単位での気軽に立ち寄れる身近な場所・見守りができる場所は必要である。これらに携わる住民団体は、これからの中山間地域において非常に重要な役割を担うと思われる。生活支援体制整備の中で協議し、具体的な基準を決めていく。共助の活動をするグループを育てることが行政の仕事である。積極的に投げかけながら組織やリーダーを育てるよう推進していく。

※テンミリオンハウス事業とは

身近であれば気軽に利用できるものに。小さな施設なら介護サービスや施設の管理などを市民の常識や良識の範囲で運営できる。軽快なフットワークを生かし緊急ショートステイなど様々なサービスを柔軟に提供できる近小・軽の家。東京都武蔵野市が介護保険導入を機に地域の人材と建物を有効活用した上で、年間1千万円を上限に地域の福祉団体や住民グループへの公募から決定する事業。



様々なテンミリオンハウス

**問 返済不要の奨学金制度を**

**答 検討する**



大崎 健夫

**一般質問**

大崎 教育の機会均等の立場から、就学意欲がありながら家庭の都合で進学できない子ども達をなくすために少額の返済不要の奨学金制度をつくる考えはないか。

久寿教育長 給付型の奨学金については国や他市町村の動向を見ながら慎重に検討して行きたい。



特別養護老人ホーム 高原荘

**問 介護施設の増設を**  
**答 現状ではハードルは高い**

大崎 町内には特別養護老人ホームが2カ所あるが入所待ちの方が多くいる。廃校舎などを活用した町営の介護施設を増設する考えはないか。

池田町長 現在22名が入所待ちである。施設の必要性は感じるが、設備など介護基準に見合った運営を考えるとハードルは高いと考える。

**問** 無投票当選の弊害は

**答** ないと考えている



大崎  
町長は三期連続無投票当選である。そのため池田一強時代になっており、町民や職員との間に弊害が出て来ていると思うがどうか。

池田町長

町長一人で行政を取り仕切っているよう言われるがそれはない。町民との対話や職員との意思疎通はできていると考えている。今後もご指摘の点については充分気をつけて行政運営を行っていく。

大崎

零細業者や一人親方など建築関連職人の仕事づくりのために住宅リフォーム助成制度を創設する考えはないか。

池田町長

建築関連の仕事づくりのために耐震工事・空き家の改修・バリアフリーのための改修工事に対して助成を行っている。

**問** 住宅リフォーム助成制度を  
**答** 耐震工事等に助成

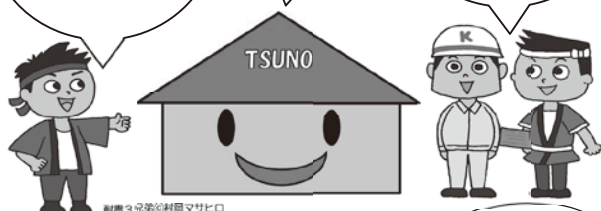
## あなたの家は大丈夫？

津野町耐震改修工事 助成

Q. 耐震診断って無料？  
A. 木造住宅は無料です！  
※対象住宅は昭和56年5月31日以前に建てられた住宅  
※非木造住宅は33,943円までの補助となります

耐震診断を受けて、自分の家の耐震性を調べてみよう！

発生が懸念されている「南海トラフ地震」皆さんの命・財産を守るためにも耐震診断、耐震改修工事を受けましょう



木造住宅耐震改修工事費

補助！

最大で 106万2千円



**問** 在宅介護への支援を

**答** 地域での支えあいを



中山 昭英



中山  
現行の体制で地域福祉の10年先を見たとき、施設不足、人員不足等から全域の高齢者には対応できない。在宅介護も同居世帯で24時間密着でないと無理である。第三者の手助けを含んだ具体的な支援策は。

一般質問

池田町長

総合整備事業で大・小地域の二層になった協議会を設置し、コーディネートが地域の状況や人間関係を把握し支えあいの芽生えを活性化させていく。家庭に寄り添った支援を行うため行政と地域が担うべきものを明確にし、地域での支えあいの仕組みを作ること在宅介護のサポートをしていく。



敬老会



**問** 障害(児)者の送迎支援を

**答** 課題解決に向けて取り組む

中山

障害(児)者を持つ家族の生活は、毎日が大変である。親は高齢化し、子どもに対して十分な世話ができなくなっていく。預ける所があれば気を休めることができると思う。

近隣では四十町の施設しかシヨートの送迎が無く、常に満床である。町で送迎するなど、他の施設が利用できるように支援できないか。

池田町長

在宅で障害者福祉サービスの利用者は、相談支援センター津野の職員が自立生活を支えるために、問題解決や適切なサービス利用に向けたマネジメントを行っている。利用者の送迎サービスの要望が多くあるならば、自立支援協議会で協議して課題解決に向けて取り組む。

**問** 障害(児)者の短期入所施設を  
**答** 国の動向を見ながら進める



特別養護老人ホーム 葉山荘

中山

障害(児)者の家族を守つていく体制作りも必要である。現状の支援から将来への道筋を示して、少しでも不安解消に繋げるため、町内に短期入所ができる施設が必要。既存の施設の一部を利用して支援できないか。

池田町長

津野町には高齢者施設として広域で運営する葉山荘・高原荘がある。この施設を利用した障害(児)者を支援する事業の動きがあるので、これを注視していく。家族の意向に沿った仕組み作りは必要であるので、国の動向を見極めながら進めていく。

中山

農業の担い手が安定した収入を求めてハウス栽培を選択した場合、県・町から補助金がでるが、それでも自己負担が高額である。土佐町が町の補助率を上げて注目されているが、津野町も担い手育成と働く場の確保のために補助率を上げ、若者定住に真剣に取り組むべきではないか。

池田町長

園芸ハウスの整備はJAのレンタルハウスの方法を取っており、期間中に分割して返還をすることになる。当然、リスクを抱えての営農となるので技術向上の指導と、安定した収入を上げることにサポート体制をしっかりとしている。補助率を上げての改革は考えていないが、今後の参考にはしていく。

**問** 農業の担い手支援を

**答** サポート体制をしっかりと



園芸ハウス

その他の質問

**問** 毎日を安心して暮らせる仕組み作りを

**答** ケア会議を中心に個々に寄り添った介護を支援するため、人材確保に努める。



勝登呂 棚田

# 議員出張懇談会が始まります。



10人程度（これより多い場合も歓迎します）の  
団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、  
議員が町内どこへでも出張し、懇談会を開催いたします。  
ご希望がある場合は、下記までお問い合わせください。

記

津野町議会事務局 TEL 55-2038 FAX 55-2022  
E-mail gikai@town.kochi-tsuno.lg.jp



## 津野町議会だより発行調査特別委員会

委員長	西元 和代
副委員長	石川 寿朗
委員	中山 昭英
委員	川上 智子
委員	大崎 健夫
委員	大崎 芳章

訂正  
第50号の11頁一般質問コーナー  
で、次のおり誤りがありました  
ので訂正します。



## 編集後記

9月の定例会は6月の選挙で  
新しく議員になった人や久しぶ  
りに復活した人、そして現職と  
カラフルな顔ぶれでの一般質問  
がされた。

5名が質問すると放送してい  
たので傍聴には期待していたが、  
いつもと変わらず寂しい限りで  
あった。質問をする議員の名前  
や何を質問するかを放送したら？  
本庁舎にエレベーターを付けた  
ら？もっと聞きやすい音響にし  
たら来てくれる？……と考える。  
しかし、町民の皆さんの代表  
で質問しているわけだから、皆  
さんが執行部に聞きたいことを  
質問しなければならぬ。して  
いるつもりがついつい慣れてし  
まって甘くなっているかもしれ  
ない。

議会だよりも読んでもらいた  
いが、質問者の話し方や答弁者  
の表情を見ながら聞くことも随  
分と面白い。  
一度、議場に足を運んでいた  
だきたく心を込めて。

（文責 大崎芳章）

※分かりやすい紙面にと心がけ  
ています。読後のご感想、ご  
意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。